



# 年頭のご挨拶

はいさいーいそーぐわちでーびる(明けましておめでとうございませう)。

県民の皆様には、気持ちも新たに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、沖縄が本土に復帰してから50年の節目の年でありました。復帰50周年記念事業として、天皇后陛下をお迎えしての「美ら島おきなわ文化祭2022」を始め、政府との共催による「沖縄復帰50周年記念式典」、「第7回世界のウチナーンチュ大会」、さらに周年事業としては初めての取組となる県内高校生が企画立案し、次世代を担う小中高生が企画する事業を行うなど、多くの行事を実施することができ、本県にとって大変意義深い年となりました。

また昨年9月、私は新たに県民の負託を受け、知事として2期目をスタートいたしました。2期目の県政運営にあたっては、誇りある豊かな沖縄の未来を拓くため、ウィズコロナからアフターコロナへと回復を図りながら、1期目に着手・推進した施策をさらに深化させ、昨年5月に策定した「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」に基づき各種施策を展開してまいります。

特に、新型コロナウイルスの影響の長期化による深刻な経済状況や子どもへの貧困問題等、重要性を増した課題等を踏まえ、次の3つの項目について重点的に取り組んでまいります。

1つ目は「県経済と県民生活の再生」です。

新型コロナウイルスの影響により厳しい状況に直面する県経済や県民生活について、成長著しいアジアに隣接し、人流、物流、投資、情報が集積するアジアの結節点として発展しうる潜在力等、沖縄のポテンシャルや魅力を生かした施策を展開し、県経済の再生や県民所得の向上を図ってまいります。



2つ目は「子ども・若者・女性支援施策のさらなる充実」です。

「沖縄県子ども貧困対策推進基金」を活用し貧困対策に全力で取り組むとともに、ヤングケアラーへの支援や女性が働きやすい環境づくり、社会人としてスタートした若年者への支援など、子ども・若者・女性への更なる支援拡充を図ってまいります。

3つ目は「辺野古新基地建設反対・米軍基地問題」です。

平成25年に県議会議長及び41全市町村の首長・議会議長が「米軍普天間基地を閉鎖撤去し、県内移設を断念すること」を求めた建白書の精神、これまでの県知事選挙や県民投票で県民の皆様が一貫して示してきた辺野古新基地建設反対の思いを実現するため、揺るぎない信念を持ち、県民の先頭に立って取り組んでまいります。

誰もが輝き、誰もが尊重され、そして誰もが希望のうちに喜びを見つけることが当たり前を実現する島、幸福が真に実感できる沖縄を目指し、全身全霊で取り組んでまいります。県民の皆様には、引き続き県政への御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとりまして明るく良い年となりますよう祈念いたしまして新年の御挨拶いたします。

くとうしん ゆたさるぐとう うにげーさびら  
(今年も よろしくお願いいたします。)

令和五年一月一日

沖縄県知事 玉城 デニー